

本年3月11日に発生した東日本大震災によって、尊い命を落とされまし
た多数の皆様とそのご家族の皆様にご心からのお悔やみを申し上げますと
もに、今なお避難生活を余儀なくされている多くの皆様に対し、心から
のお見舞いを申し上げます。

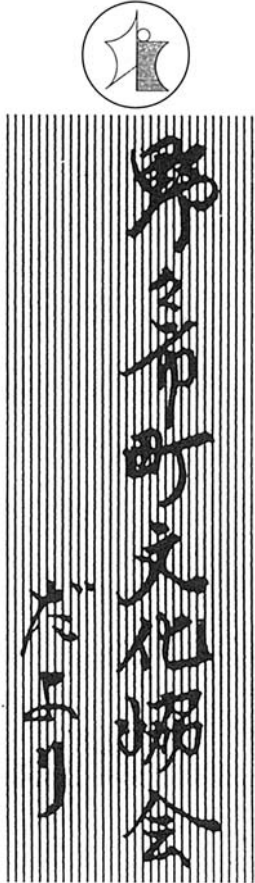
町文化協会といたしまして、その甚大な被害状況と被災地の皆様のご
心情を慮り、実行委員会の決定をもって「花と緑ののいち 椿まつり20
11」の開催を中止することといたしました。この間、事前の準備などに
ご尽力をいただいた多くの皆様には大変なご迷惑をおかけいたしました
が、事情に鑑み大方のご理解をいただいたことに篤く御礼申し上げます。

さて、野々市町では、本年11月11日の市制施行にむけて、現在最終段階
に入っており、その実現ももう目の前に迫っております。また、それぞ
れの分野で活躍している会員が、相互の連絡をはかり、相提携して本町の文
化向上に寄与することを目的として昭和61年に結成された町文化協会も、
今年で25周年を迎えることとなりました。この間、本協会の活動をお支え
いただきました町当局や町議会をはじめとする関係各位に対しまして篤く
御礼申し上げます。

文化協会加盟16団体も、この野々市町と野々市町文化協会にとってメモ
リアルとなる年をひとつの節目として、さらなる芸術文化の振興に努める
所存でありますので、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



野々市町文化協会
会 長 内村 栄一



第 24 号

発 行 人
野々市町文化協会会長
内村 栄一
事 務 所
野々市町教育委員会文化振興課内
野々市町字三納18街区1番
TEL (076) 227-6121



中野孝一氏 人間国宝認定記念祝賀会



平成23年度 文化協会理事会



中野孝一氏 重要無形文化財保持者認定書交付式



文化協会視察研修(福井県大野市)

文化協会 加盟団体一覧	野々市町文化協会					福井県文化協会				
	団体名	代表者	設立年	会員数		団体名	代表者	設立年	会員数	
	1 野々市じょんから節保存会	久保 昇	昭和35年	72名	10	読書会連絡協議会	魚住 慧子	昭和61年	29名	
	2 菊花協会	中川 修	36年	19名	11	社交ダンス愛好会	山谷 光輝	61年	34名	
	3 椿愛好会	宮崎 昭男	49年	57名	12	民謡協会	山口 正昭	平成元年	82名	
	4 美術文化協会	村井 良樹	52年	86名	13	俳句協会	小林 清	3年	40名	
	5 音楽文化協会	朝倉 喜裕	52年	125名	14	茶道協会	安田 光男	5年	95名	
	6 華道協会	若島 翠節	53年	73名	15	短歌協会	香城 清子	7年	29名	
	7 盆栽愛好会	山科 哲次	54年	34名	16	能楽愛好会	金田 吉敬	16年	30名	
	8 囲碁協会	西永 正雄	57年	85名						
9	将棋協会	鈴木久太郎	58年	85名		計			975名	

音楽文化協会

展すると共に、私達も重ねてきた30年以上の歴史を基盤に、参画者の拡充を図り、新たな文化の発信と発展に寄与すべく、より充実した組織への進展を目指したいと願っています。



当協会は、老若男女幅広い層のアマチュア音楽愛好団体や個人会員にて構成されていて、現在は、弦楽合奏団・ジャズバンド・ブラスバンド・合唱団・大正琴・フラメンコ・箏曲などの10団体と数人の個人が加盟しています。今後、野々市町が「市」となつて発

華道協会



華道協会は、今年五月七、八日の二日間、新しくリニューアルされたフォルテホールにて、第二十六回の花展を開催しました。リニューアルされたフォルテは明るくなり、会員の方々が生けられた作品がより一層華やかになりました。

今年から池坊の新しい先生が加入して下さり、協会の中に新しい風が入り、これからの活動も会員の方々と力を合わせて、文化振興のために励んでいきたいと思っています。

盆栽愛好会

盆栽好きの仲間たちが集まり定期的に、植替え・枝の剪定方法・肥培管理などについて講師を招いての研修会や盆栽、山野草などを持寄つての交換会を行っています。交換会は会員が丹精込めて育てた盆栽、山野草などを安く、競売方式で求めることが出来ます。また、年3回の展示会は会場設営から作品展示と会員みんなの楽しい行事となっています。

さらに、年1回県内外への親睦旅行も実施しています。皆で楽しく盆栽を育てながら腕前向上を目指しています。お仲間を募集しています。ご入会をお待ち申し上げます。入会金・千円、年会費・3千円



お仲間募集中!

囲碁協会

午後には、上手な手を楽しんでいきます。初心者大歓迎。

一月新春、三月椿まつり、十月タイトル戦をランク別で行っており、県内棋戦にも参加しており、善戦健闘しております。

どうかお越しを(会費年千円)。



囲碁は、幼く覚えてた者勝ちの息の長い楽しい趣味です。

先日島根での世界アマ大会に84才の平田さんが15年ぶり8回目の日本代表に、更に5位入賞!!熱年者に平田パワーを配ったね。

例会は、中央公民館で毎週土曜の晩と日曜の午後。

加盟団通信

じよんから節保存会

「じよんから」といえば野々市がすぐ頭に浮かぶほど有名な同町の伝統芸能である「野々市じよんからまつり」。

会場内ステージにおいて、最後までお囃子が続け、踊りの輪を盛り上げています。まつりの前には各町内会、学校、企業、又は商店街に講習会や宣伝活動にいそしんでおります。

小中学生対象

象の「じよんから」DS」も結成以来6年を過ぎました。どしどし和楽器と触れ合うチャンスでもありますので、入会してみませんか。

又、この機会に専門的に踊りや囃子など習得してみたい方を随時募集しております。

保存至事務局の(役場内)
小川22716037
又は票24811089まで。



菊花協会

菊づくりは苗づくりからスタートします。今年は、5月15日にベテラン役員3名が手塩にかけて育てた30種、250本の苗を会員に分譲し、更に一般の方にも販売しました。嬉しいことに、近年になじみ客があり、好評のうちに販売も進みました。

19名の会員は、11月の菊花展への出品を目指して、互いの育成状況、育成方法を見比べて、なるほどと研鑽し、また一喜一憂を重ねています。

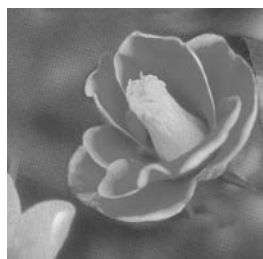
伝統ある老舗の我が協会の新しい挑戦が始まっています。



椿愛好会

町花木の保存、普及へ

町花木「椿」の制定とともに歩んできた本会は、椿を通して「花と緑の町づくり」に取り組んで三十七周年を迎えました。個性ある美しさに愛着し、ひたすら育て町民対象に押し木講習会等を開催し普及に努めています。



椿の語源は、あつばき、つばき、つばきなどと言われているように、その深い緑色や艶やかな光沢に魅力を感じさせてくれます。何時でも人々の心を和ませてくれる椿を通して「愛と和」の町づくりに努めましょう。

宮崎 二四八
一〇九〇

美術文化協会

協会員のお一人で中野孝一先生が、重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。野々市町でも初の慶事でもあり金沢国際ホテルで祝賀会を開きお祝いを致しました。町や協会員の誇りであり、協会は大いに盛り上りを見せています。十一月の市制にちなみ、美術文化の更なる発展に向けて美術振興プロジェクトチームを結成し、ワークショップや講演会などのアクションプランをねっています。皆様の多数の御参加を期待しています。



俳句協会

人生に潤いを

俳句は日本人に馴染まれ取り組み易い文芸です。花や鳥など自分が感じたままを十七文字に表現すればよく、脳の活性化にもなり近年わが国だけでなく世界に広がっています。人生を楽しく心豊かに過すため気軽に御

参加を願っています。毎年新年句会、初夏の吟行会、じよんからまつり俳句大会などを行なっており、今年の吟行会では坂井菅子さんの次の句が優勝しました。関跡のどの径ゆくも花海桐



将棋協会

将棋は棋力においてほとんど差がない者同士が戦うのが面白く、その醍醐味が味わえるものです。毎週木曜日、夜七時から中央公民館で行われる「順位戦」は、現在百六十五期が進行中です。A級、B級、C級の三クラスで戦われ、参加者は五十人を超えます。

があり、盤上で火花を散らす様は壮観です。また、フォルテの開館記念にスタートした「県下野々市将棋大会」は今年九月十一日に開かれます。新会員はいくでも歓迎します。お気軽に参加して下さい。



茶道協会

四季折々の風情を愛でながら、一服のお茶を戴き山水の清々するような所へ心を運び、今日も朋に会うを喜び「ようこそ」の気持ちになれる。お席に入れば身も心も凛として全神経を集中し、ひとときの安らぎを覚える茶道。

当協

十余名の会員が平素から研鑽に励んでおり、事業は、町では「マナビフエスタ」、「椿まつり」、金沢では「百万石茶会」、「兼六園大茶会」などに参加しています。日々の喧騒を忘れひとときを過ごしてみませんか。

読書会
連絡協議会

読書の好きな人達でグループを作り毎月各々違ったテキストを読み、その読後感を話し合っています。家で一人で読むのと違いテキストの選択の範囲も広くなりその中で交す意見も新鮮で楽しい一時が送れます。テキストの内容に留まらずいろいろなディスカッションするのも楽しく時間の経過

も忘れてしまいます。文学散歩、合同読書会等の行事もあります。マナビフエスタや椿まつりでは文学講演会を催し多くの町民の方々の参加を頂いております。本に親しみ豊かな時間を楽しみましょう。本好きな方、おまちしています。



短歌協会

短歌協会では毎年バス研修で地元や県内各地の名所旧蹟を訪ね吟行を実施しております。町内では御経塚遺跡、末松廃寺跡は知られていますが、今年の市制施行を機に、布市神社境内の聖護院道興の歌碑にも

つと光を

とあります。碑の一首は「風おくる一村雨に虹きそての、市人は立ちをもちます」で道興上人が十五世紀京都から野々市に立ち寄った時の作です。地名の謂れではないかとのこの碑をより多くの人に知って欲しいと思います。

社交ダンス
愛好会

今年は東日本大震災の発生により椿まつりが中止となり残念に思っています。ダンスは身体への健康増進やいつまでも若々しい精神を維持することに大変役立っています。毎週火曜午後七時三十分より野々市町中央公民館でプロの金子先生ご夫妻の楽しいご指導をいただいています。野々市町の市制移行を寿ぎま

すます文化の発展に寄与していきたいと会員一同張りきっています。なお随時会員募集をしています。初めての方も経験者も歓迎いたします。連絡先 野々市町本町 山谷まで 電話076124810466



能楽愛好会

昨年は、野々市町文化協会にとつて、素晴らしい年でありました。中野孝一先生が重要無形文化財保持者に認定されました。その祝賀会において、当能楽愛好会は、オーピングの大役を仰せ付けかりおめでたいお能「鶴亀」を演じさせて頂きました。

個々

の会員におきまして、親戚の結婚式や座敷開き等で折に触れて謡曲や仕舞を披露し、列席の皆様方から嬉こばれております。皆さん、一緒に活動してみませんか。来たれ、能楽愛好会へ・



民謡協会

昨年は、フォルテ改修のため中止いたしました発表会を、今年は八月二十一日(日)に開催いたします。日頃あまり聞く機会のない唄・楽器の音色等心の清涼剤になると思いますので、多数ご来場頂きます。

うお願いします。また、年齢に関係なく弾きたい、吹きたい、唄いたい、舞いたい方は各地区公民館あるいは役場教育委員会文化振興課文化協会担当まで問い合せ願います。



野々市町 文化協会表彰 文化活動の功労功績をたたえる



●平成二十二年度文化協会表彰贈呈式が十一月三日（文化の日）野々市町情報交流館カメリアにて挙行され、次の八氏に表彰状とトロフィーを贈り、それぞれの功績をたたえました。（敬称略）

【文化振興賞】

朝倉 忠雄 じよんから節保存会役員として後進の指導・育成に多大な貢献

大村 導子 美術文化協会役員として会の運営・発展に多大な貢献

勝本 睦美 美術文化協会役員として会の運営・発展に多大な貢献

新 富士子 町文化協会及び美術文化協会役員として会の運営・発展に多大な貢献

【文化奨励賞】

木戸 博也 音楽文化協会役員として会の運営・指導に多大な貢献

吉倉 一美 民謡協会役員として会の運営・指導に多大な貢献

木村 幸雄 茶道協会役員として会の運営・指導に多大な貢献

畠 二三子 短歌協会役員として会の運営・指導に多大な貢献

わが協会にこの人あり ☆加盟団体を支え活躍中の方や、「期待の星」の方を紹介するコーナーです。



椿愛好会
佐久間 由孝さん

昭和四十九年町花木「椿」の指定を機に設立以来、会員の増強はもとより椿の普及、運営に携わり特に平成元年、現在の「椿まつり」の礎は、設立十五周年の記念事業として企画、実施したのが始まりで、常に郷土愛に思いを寄せる発想、企画統率力は抜群である。

まさに「この人ここにあり」とも言え自他ともに尊敬する方である。心とまかせてくれる椿を通じて、花と緑の町づくりへの愛着に思いを寄せ良きアドバイザーとしてご指導をいただきたい。



菊花協会
中川 修さん

「楽しく菊づくり」をモットーに

50年余の歴史ある菊花協会の会長に就任された中川会長は、菊づくりのキャリアは3年目と浅いが、これに掛ける情熱は質、量ともに半端ではなく、その姿を目にした協会幹部の懇願を受け、今年入会と同時に会長に就任され積極的な協会運営に努められている。

菊づくりを始められたのは現役を引退後、親戚の人の菊づくりを見てその魅力に取り憑かれ、始められたとのこと。JR野々市駅前の住宅街の一角にビニールハウスがあり、開花期には近隣の方々が鑑賞に訪れ、またJR野々市駅に展示し利用客の目を楽しませている。

菊の栽培は奥が深く、気象状況にも大きく左右される。今後先輩会員の経験に基づく指導を仰ぎつつ、野々市町にとって新しい歴史を記すことになる今秋には大きな菊花を咲かせ祝おうと会員を鼓舞されている。

菊と、酒と、そして何よりも奥様を愛する会長は今日もハウスの中で菊づくりに取り組んでいる。

平成23年度 野々市町文化協会役員

職名	氏名	所属団体	職名	氏名	所属団体
顧問	栗 貴章	野々市町長	常任理事	中村 三朗	民謡協会
	北村 成人	野々市町議会議長		小林 清	俳句協会
	吉田 修	石川県議会議員		安田 光男	茶道協会
	徳野 光春	石川県議会議員		香城 清子	短歌協会
	村上 維喜	野々市町教育長		村上 慎市	能楽愛好会
	帆 宏典	前文化協会会長	理事	瀬戸 幸代	じよんから節保存会
参与	飴谷 久太郎	前文化協会副会長		川岸 忠次	菊花協会
	山 光輝	前文化協会副会長		北 時子	椿愛好会
会長	内村 栄一			中村 健治	美術文化協会
副会長	奥村 誠一			山本 貴志	音楽文化協会
	山口 正昭			松本 豊紀	華道協会
	又多 好子			樫田 幸治	盆栽愛好会
理事長	柳 正久			西永 正雄	囲碁協会（兼務）
副理事長	土屋 幸栄			朝日 三男	将棋協会（兼務）
常任理事	朝倉 忠雄	じよんから節保存会		埴生 登紀子	読書会連絡協議会
	中川 修	菊花協会		中村 トシ子	社交ダンス愛好会
	宮崎 昭男	椿愛好会		吉倉 三喜男	民謡協会
	岩脇 鉄一	美術文化協会		坂井 管子	俳句協会
	丸山 順孝	音楽文化協会		酒井 喜和江	茶道協会
	若島 翠節	華道協会		古田 美津子	短歌協会
	山科 哲次	盆栽愛好会		高木 由次	能楽愛好会
	源野 辰一	囲碁協会	監事	西永 正雄	囲碁協会
	窪田 弘	将棋協会		朝日 三男	将棋協会
	魚住 慧子	読書会連絡協議会	幹事	横山 貴広	
	竹森 公勝	社交ダンス愛好会		金子 祐佳	

平成23年度 主な事業計画

月日	事業名	場所
7月8日 ～18日	野々市町 美術展後援	カメリア
7月30日 ・31日	野々市じよんから まつり協賛	フォルテ周辺
8月1日	文化協会だより 24号発刊	町内全戸配布
9月28日	視察研修会	妙高高原方面
10月23日 ～11月3日	ののいちマナビィ フェスタ2011協賛	中央公民館 カメリア
11月3日	文化協会 表彰贈呈式	カメリア
11月26日 ・27日	ビッグアップルイン ののいち2011協賛	フォルテ
H24年 1月中旬	新年懇親 パーティー	カメリア
3月17日 ・18日	花と緑ののいち 椿まつり2012	フォルテ 教育センター 郷土資料館